

9月8日(水)

松井利夫さんから人材育成や田園都市構想のために寄附金が贈呈されました

南魚沼市出身で株式会社アルプス技研創業者 最高顧問の松井利夫さんから人材育成や田園都市構想のために、市に5億円のご寄付をいただきました。

松井さんからは、令和2年8月29日に産業振興や社会活性化を目的に、市に3億円のご寄付をいただいております。今回の寄付で総額8億円となります。

松井さんは「私にとっては、自分の夢を育てるための投資であると考えています。自分の人生最後のまとめという気持ちです。南魚沼市とは意気投合していると感じていますので、これからも意思疎通を行いながら構想を進めていってほしいと思います」と市長に思いを語りました。

林市長は「さらに上乘せでご寄付をいただくことになり、とてもありがたく思っています。先行して行っている起業家育成では、令和2年度末にチャレンジ支援事業補助金の採択者を5人選考しました。採択者が増えていけばこの地域に大きな化学変化が起きると思っています。松井さんの思いに応えられるように誠心誠意、頑張っていきたいと思っております」と語りました。



9月19日(日)・20日(月)

南魚沼サイクルフェスタが開催されました

第1回JBCF南魚沼クリテリウム

9月19日(日)、六日町兼続公通りの特設コース（1周1.24km）で開催されました。

クリテリウムとは市街地に設置された短いコースを何周も周り、順位を競い合う自転車の競技です。クリテリウムの開催は県内で初めてであり、3つのクラスに分かれて総勢166人がエントリーしました。

普段見慣れた道路を何十台もの自転車が猛スピードで疾走し、目の前を通り過ぎるときにはギアチェンジする音が響き渡り、風を感じるほどでした。観戦者は目の前を走る迫力溢れるレースの様子にとっても驚きながら、拍手で応援していました。



第55回JBCF経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ兼第6回JBCF南魚沼ロードレース

9月20日(月)、三国川ダムの周回コース（1周12km）で開催されました。

5つのクラスに分かれて366人がエントリーし、華やかなウェアに身を包んだ選手たちが、晴天に恵まれたしゃくなげ湖畔の美しい景観の中を駆け抜けました。長い登り坂や急カーブが続く下り坂などもあり、選手たちは苦しそうな表情を見せることもありましたが、フィニッシュラインでは、達成感と爽快感にあふれた表情でゴールをしていました。



※両日とも感染症対策を実施したうえで開催されました